

番 号	氏 名	抱 負
171	中島 健雄	日本放射線技術学会のこれまでの足跡は本邦の放射線医学の発展の歴史そのものといえましょう。近年、我々の取り扱う情報量は爆発的に増加しています。安全で高品質な放射線技術を提供するためには、学会の目的である研究発表、知識の交換というものがこれまで以上に重要な位置を占めると考えます。代議員に推挙されました暁には、臨床現場の目線で、当学会の更なる発展に尽力致します。何卒宜しく願いいたします。
172	長島 宏幸	この度、私は、日本放射線技術学会の代議員に立候補させていただきます。これまで、X線CTおよび画像工学の分野に関する研究を中心に活動して参りました。昨年度からは、学会雑誌の編集委員として仕事をさせて頂いており、また、関東部会の理事として学術および広報の仕事をさせて頂いております。代議員に拝命されましたら、学会運営に積極的に関わりながら、会員の皆様のより良い学術活動の実現に向けて取り組む所存でございます。
173	中島 正弘	平成25・26年度の代議員もさせていただきました。学会発表の英文科や会員の増加など、本学会が今後さらに発展を遂げるように尽力をさせていただく所存であります。
174	仲田 智彦	当施設は対策型検診を中心に行っておりますが、がん検診をとりまく状況は厳しく思うように受診率が伸びないのが現状です。がん検診はマンモグラフィを始め放射線検査が多いですが、実情に則した精度管理の方法、放射線検査の有効利用等を提起できればと考えております。予防医学の面からも本学会が国民に広く貢献できるよう微力ながら代議員に立候補させていただきます。
175	中西 左登志	診療放射線技師を養成する私立大学教員の立場から、学生及び卒業生に対して公益社団法人日本放射線技術学会への入会を促して会員増を図るとともに、私学の教育現場の意見を学会運営に反映して頂くことを目的として、代議員に立候補します。
176	中前 光弘	専門分科会の委員、プログラム委員、地方部会の理事をさせていただいております。評議員として、多方面からの活動を通して、学会の方向性などについて見守っていきたいと思っております。
177	永峰 正幸	放射線技術学の研究発表を通じ各関連団体との連携を強化し、更なる放射線技術学の進歩発展に寄与したいと思います。
178	中村 麻名美	現在、私は社会人大学院生として研究活動が続けています。これがきっかけとなり、多くの女性研究者や現場で活躍する女性技師とお会いする機会が増えました。診療放射線技師は職業柄、女性が増えてきており、国際的に見ても女性が多い職業です。しかし、日本においてはまだまだ男性優位の職業であります。臨床で活躍する女性技師の技術を学会の場で形にし、研究活動のサポートをするのが私の目的であります。
179	中村 泰彦	九州部会役員として代議員になり、地域の会員に日本放射線技術学会の動向や活動の情報を伝えとともに学会の動向にそった九州部会活動を活発に行えるように努力したい。また部会会員の意見を日本放射線技術学会にあげて反映できるような代議員になります。
180	中屋 良宏	放射線領域の基礎的研究・臨床的研究の発展、若い力の育成、社会への貢献を目標とし、会員のための学会となるように努力します。